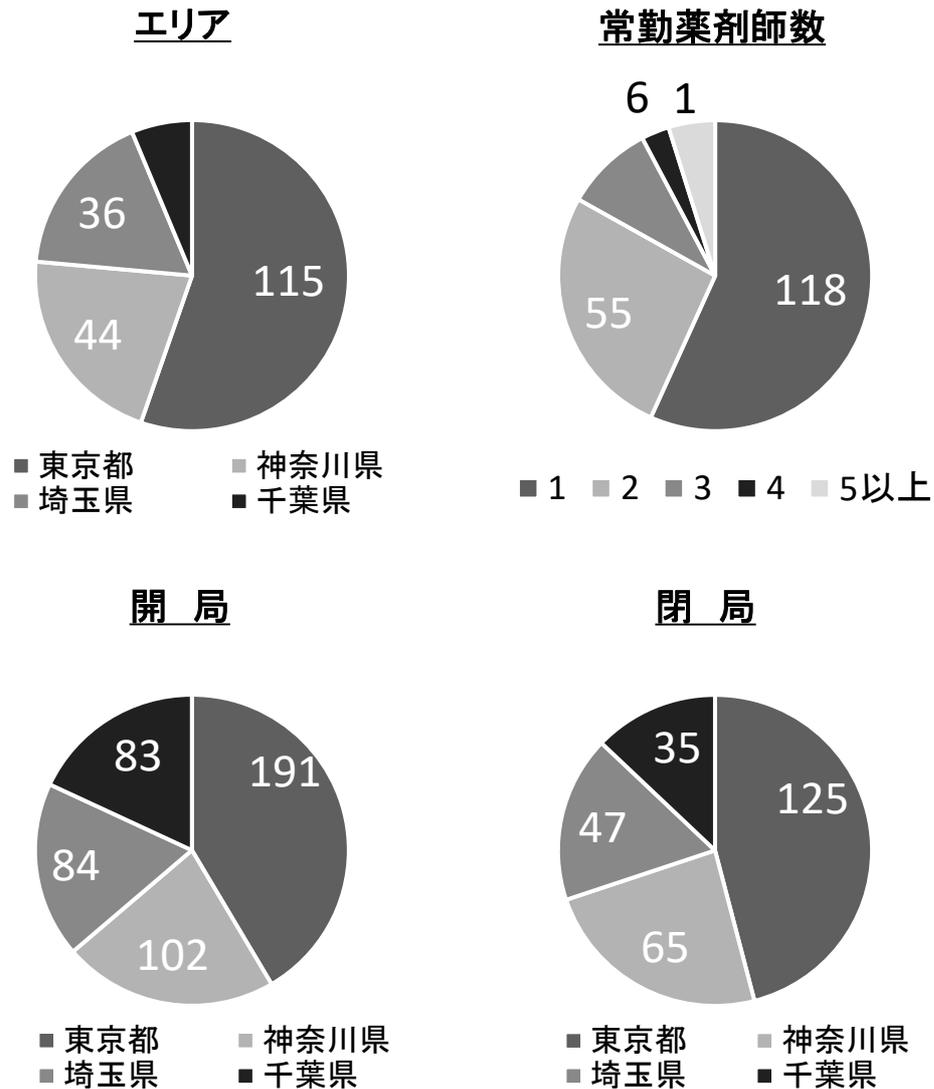


調剤薬局 M&A ニュース

<2023年12月号>

1. 2023年1月～11月の一都三県における薬局 M&A

(厚労省開示資料から当社作成・株式譲渡によるものは除く)



- ・事業譲渡薬局は 208 店舗 (株式譲渡によるものを含めると実質は約 1.5 倍あると予想)
- ・常勤薬剤師数 1 名の小規模店舗が 57% (118 店舗)、2 名まででは 83%(173 店舗)
- ・譲渡先は 多くが中堅薬局への譲渡、大手薬局は約 1～2 割
- ・開局は 460 店舗、大手・中堅が大半
- ・閉局は 272 店舗

- ✓ 常勤薬剤師 1～2 名規模の小規模薬局の中堅薬局への譲渡増、大手薬局の新規出店加速、全体の店舗数は増加しており競争が激しくなっていると見られる。

2. 大手薬局の業績（調剤関連事業のみ）

コロナ禍からの回復、出店増で増収、回復基調。

		決算	比較	業績（億円）				店舗				
				売上高	伸び率	営業益	伸び率	店舗数	出店	M&A	閉店	増減(期首比)
1	アインHD	4月	2Q	1,732	13.0%	119	15.5%	1,217	9	6	7	+8
2	日本調剤	3月	2Q	1,476	8.4%	60	0.4%	726	13	6	11	+8
3	ウェルシアHD	2月	2Q	1,262	14.6%	NA	NA	2,070	NA	NA	NA	+51
4	クオールHD	3月	2Q	810	7.2%	47	-6.8%	905	13	2	2	+13
5	マツキヨココカラ	3月	2Q	785	4.8%	NA	NA	951	36	NA	9	+27
6	スギHD	2月	2Q	778	10.5%	NA	NA	1,498	58	NA	6	+52
7	ツルハHD	5月	1Q	298	12.1%	NA	NA	864	20	1	7	+14
8	メディシス	3月	2Q	537	5.9%	29	23.6%	434	8	0	2	+6
9	東邦HD	3月	2Q	465	3.4%	9	1.9%	759	NA	NA	NA	△ 8
10	スズケン	3月	2Q	435	0.7%	NA	NA	572	NA	NA	NA	△ 5

3. 業界トピックス（2023年9月～2023年12月）

(1) M&A

- ・サンドラッグ、キリン堂 HD を持分法化

関西エリアで 300 店舗以上展開するキリン堂 HD の株式 33.4%を取得し持分法化。

- ・クオール HD、鹿児島 の 9 店舗を買収

アート（4 店舗）、エイエムメディカル（4 店舗）、はらいがわ調剤薬局（1 店舗）を買収。

- ・ウェルシア HD、とをしや薬局を買収

長野県松本市を中心に 21 店舗運営するとしや薬局を買収。

- ・地域ヘルスケア連携基盤（CHCP）、つばさ、エム・ケイ・ファーマシーを買収

大阪府茨木市を中心に 10 店舗運営するつばさ、滋賀県で 6 店舗運営するエム・ケイ・ファーマシーを買収。

- ・ツルハ HD、福家薬局を買収

子会社のドラッグイレブンを通じて、長崎県五島市で 4 店舗運営する福江薬局を買収。

- ・アポクリート、カイエー薬局を買収

埼玉県で 7 店舗運営するカイエー薬局を買収

- ・総合メディカル、CVC キャピタル・パートナーズが買収

740 店舗運営する総合メディカルグループを 1700 億円で買収

(2) 業界動向

- ・調剤医療費（厚労省）

令和 5 年度 7 月の調剤医療費は 6,869 億円（対前年度同期比+7.8%）で、処方箋 1 枚当たり調剤医療費は 9,208 円（〃+1.1%）であった。調剤医療費の内訳は、技術料が 1,877 億円（〃+6.2%）、薬剤料が 4,978 億円（〃+8.4%）、薬剤料のうち、後発医薬品が 946 億円（〃+4.8%）であった。

以上